平成22年11月27日 キャンドルdeないと

２０１０年11月27日に11月例会テーマ「THE POWER OF ISLAND ～活力、魅力、団結力～」の基にキャンドルdeないとが開催されました。

この企画は土生町商店街連合会の第３回灯りまつりと社団法人因島青年会議所のキャンドルdeないとと共同で行い、また土生町区長会・尾道市ＰＴＡ連合会因島ブロックそして社団法人因島観光協会の各団体にご後援をいただき盛大に開催することが出来ました。

当日は、土生商店街通りのキャンドルを始めとし、長崎ふれあい公園のキャンドルそしてクリスマスタワーへ明かりが灯され、幻想的な世界が創られました。

また、商店街には夜店や美術館が並びキャンドルには島内の各小中学校の児童より提出していただいた、絵や将来の夢などが飾り付けられており、子ども達は自分やお友達の作品を探して楽しみ、お越しいただいた大変多くの町の皆さまはいつもとは違う、冬の夜空の下に灯されるキャンドルの灯りに酔いしれ、にぎわいました。

この事業は、２０１０年度社団法人因島青年会議所　島のちから向上委員会が、昨年一年間思い続けてきた、町づくりの思いである「私たちのまち、因島の活性化を進めるためには、町の方、各種団体、行政そして青年会議所がしっかりと連携し、力を合わせていく必要がある。」そして、子どもからお年寄りの方まで幅広い人が参加できることを考えたいという思いから企画されました。この事業で培った連携を活かし、これからの社団法人因島青年会議所のまちづくり事業をより一層発展させていきたいと思います。

キャンドルdeないとで灯された、町の子ども達や大人が作製した優しいキャンドルの灯りは、暖かく皆様の心のおく深くまで輝くことが出来たのではないでしょうか。

二〇一〇年度理事長お礼の言葉

平素は私ども社団法人因島青年会議所の活動において深いご理解とご協力を賜り、心より深く感謝申し上げます。

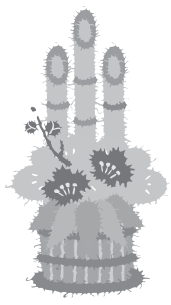
２０１０年度は「Think and Do it！～一歩前へ考動しよう～」をスローガンに掲げ、人と人・人と地域の繋がりをどのように深めていくかという事を意識してＪＣ活動・運動に力を注いで参りました。

５月には第５回わんぱく相撲因島場所、10月には元プロ野球選手である石毛氏を招いての公開例会、11月には土生町商店街連合会の灯りまつりとのコラボレーション企画「キャンドルdeないと」等を企画・開催して地域の人たちと深く関わり共同でまちづくりをして参りました。

これからも社団法人因島青年会議所はこのような事業を通して、地域の人たちと共に因島地域の活性化や人材育成に時代を切り開く青年としての使命と自覚し邁進して参ります。

今後とも地域の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（社）因島青年会議所
桧垣　篤



新入会員インタビュー

昨年より新入会員になられた村上力君（ジョージア園芸）と毛利勇介君（有）因島モータース）のお二人にインタビューに答えて頂きました。

村上　力君

★どんな仕事をされていますか？

各種花の苗を生産し、ホームセンター等へ卸しています。現在（秋～春）は、パンジーの生産が忙しいです。

★社団法人因島青年会議所に入会することとなったきっかけは？

理事会・例会・各種資料作成・人前でのスピーチ等、日常生活で経験できないことが学べると聞き、挑戦しようと思い入会することを決断しました。

★入会して半年になりますが、自分の中で何か変わったことがありますか？

仕事面での下準備をしっかりする等、時間を大切に使うようになりました。

★家族の方は、入会したことでどの様に思っていますか？

連日、委員会に熱中するあまり夜遅くなっているので、体調面を心配してくれています。

★ＪＣで今楽しいことは？

自分の所属する委員会が担当する例会では、責任が生まれるので程良い緊張感や終わった後の達成感があり楽しいです。

★今後の目標は？

ＪＣでの運動・活動で自分の資質を高め少しでもリーダとなれる人間に近付き、因島（重井）の農業や地域を引っ張っていける人間になりたいと思っています。

ジョージア園芸社長（村上君のお父様）からのお言葉

私は仕事柄、家と仕事場の往復だけで異業種の方、地域の方と今まであまり交流する事がありませんでした。仕事に専念すればするほど世間が狭くなる、といった事となっていました。息子には、因島ＪＣでの活動を通して色々な人と交わり、多くの考えを学び、視野の広い人間となり良い経営者となってほしいと思っています。

毛利勇介君

★どんな仕事をされていますか？

２００８年から実家に戻って、新車、中古車販売、板金、自動車保険、車検など幅広い業務を行っています。

★社団法人因島青年会議所に入会することとなったきっかけは？

例会に参加させていただいて感銘を受け入会しました。広島ブロックの野球大会のお手伝いで参加した経験も入会のきっかけとなりました。

★入会して変わったことはありますか？

今まで、仕事などをする際に物事を何も考えずに行っていたと思います。段取りなどの大切さを痛感しました。入会してからは準備、段取りを一つ一つ考えて行うようになりました。

★ＪＣの魅力？

自分には無い色々な考えを持っている人と、接する事が出来ることです。また、例会などの担当を終えて、打ち上げなどでお酒を飲む事に達成感を感じます。

★友達にＪＣを勧められますか？

一緒に貴重な経験が出来る仲間が出来ればいいと思います。また、色々な、為になる例会もありますので、家業がある人には勧められると思います。

★ＪＣで大変なことは何ですか？

仕事との両立が大変です。しかし、タイムマネージメントが前より良くなり何とかこなしています。

㈲因島モータース（毛利君のお父様）からのお言葉

私もライオンズクラブでの奉仕活動又仲間との付き合いを通して色々なことを学びました。息子にはＪＣでの経験の中で仲間をいっぱい作り、思い切った人生を過ごしてほしいと思います。たまには、明日の仕事のことを考えて、夜早めに切り上げるという事も必要では・・・！

村上　力君

毛利勇介君

新理事長挨拶

新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。長年にわたり皆様より賜りました多くのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。私たち（社）因島青年会議所は、創始以来「明るい豊かな社会の構築」を目指し、先輩諸兄が時局の課題に真摯に向き合い、「まちづくり」、「ひとづくり」を中心として活動してまいりました。本年もこの精神を受け継ぎ、何を為すべきかをしっかりと認識しながら事業を展開してまいります。また、「公益法人制度改革」を踏まえ、より公益性、透明性のある団体となるべく組織を検証し、地域に信頼される団体を目指してまいります。本年も更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げるとともに、皆様にとりまして素晴らしい年であります様に心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

（社）因島青年会議所
理事長　永宗大典

ＪＣボックス

酒の嗜み

成人を迎え覚える嗜みの一つにお酒がある。誰もが一度は二日酔いに苦しみ、前日の事を後悔するものだが、また再び飲みに行く。失敗を経験することで大人として、お酒との付き合いを学んでいくのである。我われ青年会議所においても、事業の後などお酒の席が設けられることが少なからずある。

「酒は良薬にもなれば毒薬にもなる」これは、体をいたわる言葉であるが、人間関係にも言えることでないのだろうか。先日もある歌舞伎役者がお酒の席でトラブルに会い、大怪我を負う事となった。どうせお酒を飲むなら良薬として付き合い、楽しく翌日を迎えたいものである。

MESSAGE

本紙では皆さんからの投稿を募っています。地域の身近なご意見・ご感想、またＪＣに対するご意見・ご要望を是非お聞かせ下さい。お待ちしております。

社団法人 **因島青年会議所**
〒722-2323
広島県尾道市因島土生町1809-20（因島商工会議所ビル内）
TEL(0845)22-6116　FAX(0845)22-8017
URL:http://0845.jp/jc/
E-mail:insei@mx4.tiki.ne.jp

新入会員募集　青年会議所に入って一緒に勉強して活動してみませんか？　入会希望の方は事務局又はお近くのＪＣ会員まで！